

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	環境工学Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0106		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	【参考書】「大学土木 水環境工学」(松尾友矩編著、オーム社)				
担当教員	横田 恭平				
到達目標					
1. 水道の役割と種類を説明できる。(C-1) 2. 水道計画(基本計画、給水量、水質、水圧等)を理解でき、これに関する計算ができる。(C-1) 3. 浄水の単位操作(凝集、沈澱、濾過、殺菌等)を説明できる。(C-1) 4. 下水道の役割と現状、汚水処理の種類について説明できる。(C-1) 5. 下水道の基本計画、施設計画、下水道の構成を説明でき、これに関する計算ができる。(C-1) 6. 生物学的排水処理の基礎(好気性処理)を説明できる。(C-1) 7. 汚泥処理・処分について説明できる。(C-1)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
水道の役割と種類	水道の役割と種類について実例を交えて説明ができる。		水道の役割と種類について基礎的な事項の説明ができる。		水道の役割と種類について基礎的な事項の説明ができない。
水道計画(基本計画、給水量、水質、水圧等)	水道計画について実例を挙げた説明と計算ができる。		水道計画に関する基礎的な事項の説明と計算ができる。		水道計画に関する基礎的な事項の説明と計算ができない。
浄水の単位操作(凝集、沈澱、濾過、殺菌等)	実例を挙げて浄水の単位操作に関する説明ができる。		浄水の単位操作に関する基礎的な事項の説明ができる。		浄水の単位操作に関する基礎的な事項の説明ができない。
下水道の役割と現状、汚水処理の種類	下水道の役割と現状、汚水処理の種類に関して実例を交えて説明ができる。		下水道の役割と現状、汚水処理の種類に関する基礎的な事項の説明ができる。		下水道の役割と現状、汚水処理の種類に関する基礎的な事項の説明ができない。
下水道の基本計画・施設計画・下水道の構成	環境に応じた基本計画・施設計画・下水道構成が提案できる。		下水道の基本計画、施設計画、および下水道の構成に関する基礎的な説明と計算ができる。		下水道の基本計画、施設計画、および下水道の構成に関する基礎的な説明と計算ができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	上水道と下水道の機能と仕組みを学び、それらを計画・設計・管理するための工学的知識を修得する。この科目は、上下水道関連の事業を行っている会社に就職したい人にとって重要となる。				
授業の進め方・方法	講義を中心として演習問題を適宜実施する。				
注意点	事前学習：参考書等に掲載されている演習課題に取り組む。 事後学習：授業中に行った課題について再度取り組み、授業内容を次の授業までに復習する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	上水道の役割としくみ	上水道とは何かを説明できる。	
		2週	水道の役割と種類	水道の役割、種類を説明できる。	
		3週	水道の基本計画(1)	水道計画(基本計画、給水量、水質、水圧等)を理解でき、これに関する計算ができる。	
		4週	水道の基本計画(2)	同上	
		5週	水道の水源と施設(1)	水道の水源及び施設について説明できる。	
		6週	水道の水源と施設(2) 浄水施設のしくみ	水道の水源及び施設について説明できる。 浄水の単位操作(凝集、沈澱凝集、濾過、殺菌等)を説明できる。	
		7週	浄水施設のしくみ	浄水の単位操作(凝集、沈澱凝集、濾過、殺菌等)を説明できる。	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	下水道の役割としくみ	下水道の役割と現状、汚水処理の種類について、説明できる。	
		10週	下水道の歴史と役割	同上	
		11週	下水道の基本計画(1)	下水道の基本計画と施設計画、下水道の構成を説明でき、これに関する計算ができる。	
		12週	下水道の基本計画(2)	下水道の基本計画と施設計画、下水道の構成を説明でき、これに関する計算ができる。	
		13週	下水処理のしくみ(1)	生物学的排水処理の基礎(好気的処理)を説明できる。 微生物の定義(分類、構造、機能等)を説明できる。 汚泥処理・処分について、説明できる。	
		14週	下水処理のしくみ(2)	生物学的排水処理の基礎(好気的処理)を説明できる。 微生物の定義(分類、構造、機能等)を説明できる。 汚泥処理・処分について、説明できる。	
		15週	期末試験		
		16週	総まとめ	上下水道工学について説明できるようになる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	環境	水道の役割、種類を説明できる。	4	前1,前2
				水道計画(基本計画、給水量、水質、水圧等)を理解でき、これに関する計算ができる。	4	前3,前4
				浄水の単位操作(凝集、沈澱凝集、濾過、殺菌等)を説明できる。	4	前6,前7
				下水道の役割と現状、汚水処理の種類について、説明できる。	4	前9,前10
				下水道の基本計画と施設計画、下水道の構成を説明でき、これに関する計算ができる。	4	前11,前12
				生物学的排水処理の基礎(好氣的処理)を説明できる。	4	前13,前14
				汚泥処理・処分について、説明できる。	4	前13,前14
			微生物の定義(分類、構造、機能等)を説明できる。	4	前13,前14	

評価割合

	中間試験	期末試験	合計
総合評価割合	50	50	100
配点	50	50	100